

【平成30年度事業の課題・取組みについて】

これまでの事業の取組みから考えられる健康局における課題と対応策

【目的】 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

～多職種連携～

- ◎区役所・コーディネーターのスキルアップと連携
- ◎広域での連携の仕組みづくり

- ◎病院との連携
- ◎評価指標の検討

対象	課題	目標	健康局における平成30年度の対応策
区役所	#1 実務者のマネジメント力	○区役所実務者が事業の必要性を理解し、区の課題を明確にし連携推進のための対応策を検討することができる。	○研修実施 ○好事例等の情報提供
	#2 各区の在宅医療・介護の現状把握及び課題抽出		○各区の医療・介護連携の課題の整理と分析(高齢者実態調査や各区のアンケート結果等により)の支援
	#3 地域特性に応じた効果的な区民啓発		
	#4 受託法人との連携		○区役所及び受託法人の定期的な打合せ等の実施 ○区役所及び受託法人の研修実施
受託法人・コーディネーター	#1 受託法人によるバックアップ体制の強化	○在宅医療・介護連携支援コーディネーターが医療・介護関係者の連携における相談業務を行いつつ、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制を構築を推進することができる。	○研修実施 ○好事例等の情報提供
	#2 コーディネーターのスキルアップ (在宅医療・介護の連携における課題の把握と対応策の検討) (後発区のスキルアップ)		○研修実施 ○好事例等の情報提供 ○連絡会(毎月)の開催 (スキルアップのための内容をワーキングチームにおいて検討) ○各区の医療・介護連携の課題の整理と分析(高齢者実態調査や各区のアンケート結果等により)の支援
	#3 区役所との連携		○区役所及び受託法人の定期的な打合せ等の実施 ○区役所及び受託法人の研修実施
	#4 情報共有ツールの検討推進		○好事例等の情報提供
	#5 病院との連携		○コーディネーター活動を通じた区内病院との連携状況の実態把握の推進
	#6 関係機関への周知		

健康局	#1 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり	○区域を超える連携の課題を整理し対応策を検討することができる。	○区域を超える医療（病院）との連携における課題及び対応策の検討 ○隣接市との連携（情報交換）
	#2 適切な事業評価指標の検討	○事業全体の評価指標を検討することができる。	○各区の医療・介護連携の課題の整理と分析（高齢者実態調査や各区のアンケート結果等により）の支援 ○医療・介護の現状把握のための実態調査 結果提供
	#3 各高齢者施策との調整		
	#4 保健医療計画・介護保険事業計画との整合性		

《健康局の課題（まとめ）》

局の課題 1 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携

→ 区役所・受託法人支援の進捗報告及び今後の取組み

局の課題 2 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり

→ 広域連携の進捗報告及び今後の取組み

局の課題 3 評価指標の検討

→ 医療施設等アンケート調査結果

局の課題1 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携 → 区役所・受託法人支援の進捗報告及び今後の取組み

- ①区役所・在宅医療・介護連携支援コーディネーター研修会
- ②在宅医療・介護連携支援コーディネーター連絡会（毎月）（ワーキング活動）
- ③好事例の情報提供

①区役所・在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

※（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

H30	ねらい	（イ）を基盤とし、更に（カ）多職種連携研修を考える
	開催内容 （予定）	○ 区役所の好事例（淀川区・西淀川区） ○ 診療報酬に関する基礎知識Ver.2（すずけん） ○ 多職種研修会の実例を紹介（国診協の多職種研修会コーディネーター育成より） ○ 地域支援事業間（健康局－福祉局）の連携の実際 “地域特性を知る”

（参考）

H29	ねらい	（イ）を中心とした区の活動を紹介することで、自区の（イ）の進め方の参考にする
	開催内容	○ 区役所の好事例（東成区） ○ 医療関係機関の取組み（府薬剤師会・病院） ○ データの見える化（健康局 撫井室長）Ver.2 ○ 診療報酬に関する基礎知識Ver.1（すずけん） ○ 地域支援事業間（健康局－福祉局）の連携の実際

②在宅医療・介護連携支援コーディネーター連絡会（ワーキングチーム活動）

H30	ねらい	他区や他自治体の活動を知り、自区の取組みに活かす
24区	開催内容 （予定） 8回	○ 他事業の説明（自立支援サービス等） ○ コーディネーター間の意見交換：個別相談事例検討や取組み等 ○ 他自治体の活動の紹介、情報交換

（参考）

H29	ねらい	他区や他自治体の活動を知り、自区の取組みに活かす
4月22区	開催内容	○ 他事業の説明（地域包括支援センター、区社会福祉協議会等の業務、認知症施策等）
12回		○ 意見交換：入院医療（病院との連携）について 区域外の病院からの退院支援の局面
10月24区		○ 他区のコーディネーター活動の紹介 ○ 他自治体の活動の紹介、情報交換
3回		○ ワーキングの立ち上げ（コーディネーターのスキルアップ等） → チェックリスト作成

③好事例等の情報提供

- 市内各区の取組みや他自治体の取組み、国の動向などの情報提供（随時）
- 在宅医療介護連携相談支援室の活動報告会の開催（予定）

局の課題2 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり → 広域連携の進捗報告及び今後の取組み

- 区域を超える医療（病院）との連携における課題及び対応策の検討
- 隣接市との連携（情報交換）

	現状	対応策	具体的な取組み内容（予定）
①	・病院によって退院調整方法が異なる。	・各区の相談支援室による病院「退院調整部門」や退院調整の実態把握	○各区において継続的な実態把握
②	・在宅医療・介護連携支援コーディネーターは、区域を越える病院の「退院調整部門」の情報が不十分。	・相談支援室（在宅医療・介護連携支援コーディネーター）間での情報交換・連携（毎月の連絡会等）	○各区において把握している病院の「退院調整部門」等の情報をリスト化し、共有
③	・病院側の「退院調整部門」は、地域の医療・介護の資源状況についての情報が乏しい。 ・病院「退院調整部門」における相談支援室の認知度が不十分。	・「相談支援室」リーフレット配付 ・隣接市の（オ）「相談支援室」の把握	○各区において継続的な周知 ○大阪市においてはHP等により継続的に周知 ○隣接市の（オ）「相談支援室」のリスト化
④	・区域を超える病院「退院調整部門」との顔の見える関係を推進できる場が不十分。	・病院「退院調整部門」と各区の「相談支援室」等の連携推進のための「顔の見える関係」推進の場の設定（研修会開催）	○ブロック単位で『退院支援にかかる多職種の研修会』の開催



局の課題3: 評価指標の検討 → 医療施設等アンケート調査結果

- 各区の医療・介護連携の課題の整理と分析
- 医療・介護の現状把握のための実態調査

国の手引きより

在宅医療・介護連携推進事業における指標のイメージ

- 地域の課題や取組に応じて、必要な評価指標を検討、選択することが重要。

